

Foresight in sight

どこまでやるのセキュリティ

～“守るべき情報”に応じた、情報漏えい対策の検討

2014年度 研究活動 関西3グループ

株式会社ノエビアホールディングス
松原 竜太
けいしんシステムリサーチ株式会社
永田 喜洋

ユニシス研究会関西3Gについて

メンバー構成

| 氏名 | 所属会社 | 役割 |
|--------|-------------------|--------|
| 松原 竜太 | 株式会社ノエビアホールディングス | リーダー |
| 永田 喜洋 | けいしんシステムリサーチ株式会社 | サブリーダー |
| 室井 昭広 | 因幡電機産業株式会社 | |
| 長谷川 智治 | G & Uシステムサービス株式会社 | |
| 栗野 恵介 | | |
| 松本 靖 | 日本ユニシス株式会社 | アドバイザー |
| 中田 和宏 | 日本ユニシス株式会社 | アドバイザー |



アジェンダ

1. 研究テーマ選定
2. 目指すべきゴールと
ゴールへのアプローチ
3. セキュリティ基準の作成
4. セキュリティ基準の検証
5. まとめ



研究テーマ

どこまでやるの セキュリティ

■選定背景

関西支部はユニシス研究会史上初「分野別エントリー方式」
メンバー募集時は「情報セキュリティに関する研究」

■ステップ1 ブレインストーミング

自身の会社へWAF（WebApplicationFirewall）
導入の提案をしたが、上司から却下された。

どうすれば良いのか

却下理由

- ・費用
- ・WAF or IPS/IDS

研究テーマ

■ テーマ候補

IEの脆弱性

業務効率・利便性

自社のセキュリティ対策の有効性

情報漏えい

クレジットカードのセキュリティ

費用対効果

組み込み機器セキュリティ

スマートデバイス

災害時の備え

研究テーマ

もし、しなければならぬ
セキュリティ対策が
決まっていたら？

■テーマ候補

自社のセキュリティ対策の有効性

十分？不十分？

業務効率・利便性

セキュリティとどちらを優先？

費用対効果

どこまで費用をかけるべき？

研究テーマ

■テーマ候補

自社のセキュリティ対策の有効性

基準と比較して過不足確認！

業務効率・利便性

不便でも基準通りに！

費用対効果

費用に見合わないと思っても基準通りに！

採るべき
セキュリティ対策の基準
が明確に存在すれば、
解決！！

研究テーマ

採るべきセキュリティ対策の基準を作成したい！！

セキュリティ。
しなきゃいけないのはわかってる。
でも、時間もない。お金もない。
いったい、どこまでしたらいいの？



研究テーマ

採るべきセキュリティ対策の基準を作りたい！！

セキュ
しなま

テーマ決定！！
どこまでやるの セキュリティ





サブテーマ

“守るべき情報”に応じた、情報漏えい対策の検討



目指すべきゴール

- ・ここまでやるの という答え（3G基準）を出す
- ・まとめた基準を、誰でもが使えるツールにする
条件さえ入力すれば、しなければならない対策が出る
- ・セキュリティ対策の成績表になるようなツールにする
セキュリティ対策をポイント換算し、条件・実施状況を入力すれば、点数が出る
- ・そのセキュリティ基準を使ったツールが実際に使えるものかどうかを検証する



ゴールへのアプローチ

■ステップ1

守るべきもの/リスク/対策のピックアップから始めた。

- ・ 個人情報
- ・ 新製品情報
- ・ Webサイト
- ・ PC、サーバ
- ・ 企業イメージ
- ・ ブランドイメージ
- ・ 社員の安全



サブテーマ

“守るべき情報”に応じた、情報漏えい対策の検討

某通信教育企業の大事件のニュース

守るべきもの → “個人情報”

リスク → “情報漏えい”

情報内容・利用方法・保管場所 等の条件毎に、
採るべき情報漏えい対策は異なるはず

ゴールへのアプローチ

■ステップ2

個人情報にもいろいろ

最も価値が高いものは？

漏えいした際に、最も被害額が高いものは？

クレジットカード情報

国際カードブランド5社が共同で作ったセキュリティ基準
PCIDSS(Payment Card Industry Data Security Standards)





PCIDSS

要件1

カード会員データを保護するためにファイアウォールを導入し、最適な設定を維持すること

）

要件6

安全性の高いシステムとアプリケーションを開発し、保守すること

）

要件12

情報セキュリティに関するポリシーを整備すること

300個以上のセキュリティ項目からなるセキュリティ基準

セキュリティ基準の作成

関西3Gが作成するセキュリティ基準(3G基準)のイメージ

| | 条件A | 条件B | 条件C |
|-------------|-----|-----|-----|
| セキュリティ対策項目① | ○ | × | ○ |
| セキュリティ対策項目② | ○ | ○ | ○ |
| セキュリティ対策項目③ | × | ○ | × |



セキュリティ基準の作成

■縦軸（セキュリティ対策項目）

PCIDSS

- ・ 具体的・定量的で理解し易い。が、一部…
→我々なりに咀嚼し、分かり易い表現に変更
- ・ 300以上のセキュリティ対策項目
→類似性の強いものを集約した結果、**230項目**



セキュリティ基準の作成

■横軸（条件）

個人情報の種類

- ①基本情報　：氏名、住所、生年月日、性別、電話番号
- ②機微情報　：病歴、犯歴、思想・宗教など
- ③カード情報：カード番号、有効期限、セキュリティコード

情報の入出力経路（Web、イントラ）

保存方法（データベース、紙）

セキュリティ基準の作成

■ 横軸（条件） 15条件

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|------------------|--|
| 個人 情報 なし | 個人情報あり | | | | | | | | | | | | | | |
| | クレジットカード | | | | 機微情報 | | | | | 基本情報 | | | | | |
| | Web 入力 | | イントラ 入力 | | Web 入力 | | イントラ 入力 | | | Web 入力 | | イントラ 入力 | | | |
| | DB 格 納 あり | DB 格 納 なし | DB 格 納 あり | DB 格 納 なし | DB 格 納 あり | DB 格 納 なし | DB 格 納 あり | DB 格 納 なし | 紙 で 保 存 | DB 格 納 あり | DB 格 納 なし | DB 格 納 あり | DB 格 納 なし | 紙 で 保 存 | |

セキュリティ基準の作成

230項目のセキュリティ対策 × 15条件 = 3,450



230項目

| 備考 | クレジットカードあり | | | | 個人情報あり | | | | | | | |
|---|---------------|-----------------|-----------------|-----------------|---|---|---|---|---|------------------|---|---|
| | Webサイトからの入力あり | | イントラからの入力あり | | Webサイトからの入力あり | | イントラからの入力あり | | 紙で保存 | | | |
| | DB格納あり | DB格納なし | DB格納あり | DB格納なし | DB格納あり | DB格納なし | DB格納あり | DB格納なし | DB格納あり | DB格納なし | DB格納あり | DB格納なし |
| 少なくとも90日ごとに非アクティブなユーザアカウントを削除/無効化する。 | 全員同じ:○ | 多数決 :○ ×は、松原 | 全員同じ:○ | 多数決 :○ ×は、松原 | 意見分裂 松原 :× 永田 :× 長谷川 :○ 室井 :○ | 意見分裂 松原 :× 永田 :× 長谷川 :○ 室井 :○ | 意見分裂 松原 :× 永田 :× 長谷川 :○ 室井 :○ | 意見分裂 松原 :× 永田 :× 長谷川 :○ 室井 :○ | 紙で保存 | 多数決 :× ○は、長谷川 | 意見分裂 松原 :× 永田 :× 長谷川 :○ 室井 :○ | 意見分裂 松原 :× 永田 :× 長谷川 :○ 室井 :○ |
| ベンダーがリモートアクセス経由でシステムへのアクセス、サポート、メンテナンスが必要な場合、必要な期間内だけ有効にする。 | 全員同じ:○ | 全員同じ:○ | 全員同じ:○ | 全員同じ:○ | 全員同じ:○ | 全員同じ:○ | 全員同じ:○ | 全員同じ:○ | 全員同じ:○ | 多数決 :○ ×は、室井 | 全員同じ:○ | 全員 |
| ベンダーがリモートアクセス経由でシステムへのアクセス、サポート、メンテナンスが必要な場合、使用時にログ等で監視する。 | 全員同じ:○ | 多数決 :○ ×は、松原 | 全員同じ:○ | 多数決 :○ ×は、松原 | 意見分裂 松原 :× 永田 :× 長谷川 :○ 室井 :○ | 意見分裂 松原 :× 永田 :× 長谷川 :○ 室井 :○ | 意見分裂 松原 :× 永田 :× 長谷川 :○ 室井 :○ | 意見分裂 松原 :× 永田 :× 長谷川 :○ 室井 :○ | 紙で保存 | 多数決 :× ○は、長谷川 | 意見分裂 松原 :× 永田 :× 長谷川 :○ 室井 :○ | 意見分裂 松原 :× 永田 :× 長谷川 :○ 室井 :○ |
| 6回以下の試行で、ユーザIDをロックアウトする。 (遅延管理もしくは、管理者による再有効化) | 全員同じ:○ | 多数決 :○ ×は、松原 | 全員同じ:○ | 多数決 :○ ×は、松原 | 意見分裂 松原 :× 永田 :× 長谷川 :○ 室井 :○ | 意見分裂 松原 :× 永田 :× 長谷川 :○ 室井 :○ | 意見分裂 松原 :× 永田 :× 長谷川 :○ 室井 :○ | 意見分裂 松原 :× 永田 :× 長谷川 :○ 室井 :○ | 紙で保存 | 多数決 :× ○は、長谷川 | 意見分裂 松原 :× 永田 :× 長谷川 :○ 室井 :○ | 意見分裂 松原 :× 永田 :× 長谷川 :○ 室井 :○ |
| セッションのアイドル状態が15分を超えた場合、セッション再アクティブ化にユーザの再認証を必要とする。 | 全員同じ:○ | 全員同じ:○ | 全員同じ:○ | 全員同じ:○ | 多数決 :○ ×は、永田 | 多数決 :○ ×は、永田 | 多数決 :○ ×は、永田 | 多数決 :○ ×は、永田 | 意見分裂 松原 :○ 永田 :× 長谷川 :○ 室井 :× | 多数決 :○ ×は、永田 | 多数決 :○ ×は、永田 | 多数決 :○ ×は、 |
| パスワードの暗号化を行う。 | 全員同じ:○ | 全員同じ:○ | 多数決 :○ ×は、松原 | 多数決 :○ ×は、松原 | 多数決 :○ ×は、永田 | 意見分裂 松原 :○ 永田 :× 長谷川 :○ 室井 :× | 意見分裂 松原 :× 永田 :× 長谷川 :○ 室井 :○ | 多数決 :× ○は、長谷川 | 多数決 :× ○は、長谷川 | 多数決 :○ ×は、永田 | 意見分裂 松原 :○ 永田 :× 長谷川 :○ 室井 :○ | 意見分裂 松原 :○ 永田 :× 長谷川 :○ 室井 :○ |
| パスワードのリセット、新しいトークンの準備、新しいキー生成依頼の再、ユー | | | | | 意見分裂 松原 :○ | 意見分裂 松原 :○ | 意見分裂 松原 :○ | 意見分裂 松原 :○ | 意見分裂 松原 :○ | 意見分裂 松原 :○ | 意見分裂 松原 :○ | 意見分裂 松原 :○ |

セキュリティ基準の作成

230

項目

| | | | | |
|--|--|---------------|--------|--------|
| | 以下の試行で、ユーザーIDをロックアウトする。 (遅延管理もしくは、管理者による再有効化) | Webサイトから | DB格納あり | DB格納なし |
| 備考 少なくとも90秒間、ユーザーアカウントを無効にする。 | | Webサイトからの入力あり | DB格納あり | DB格納なし |
| ベンダーシステムへのアクセスが必須視する。 | セッションのアイドル状態が15分を超えた場合、セッション再アクティブ化にユーザの再認証を必要とする。 | 紙で保存 | DB格納あり | DB格納なし |
| 6回以下の試行を無効にする。 (遅延管理もしくは再有効化) | パスワードの暗号化を行う。 | | | |
| セッションのアイドル状態が15分を超えた場合、セッション再アクティブ化にユーザの再認証を必要とする。 | | | | |
| パスワードの暗号化を行う。 | | | | |

セキュリティ基準の作成

■メンバー間の意見の分かれ

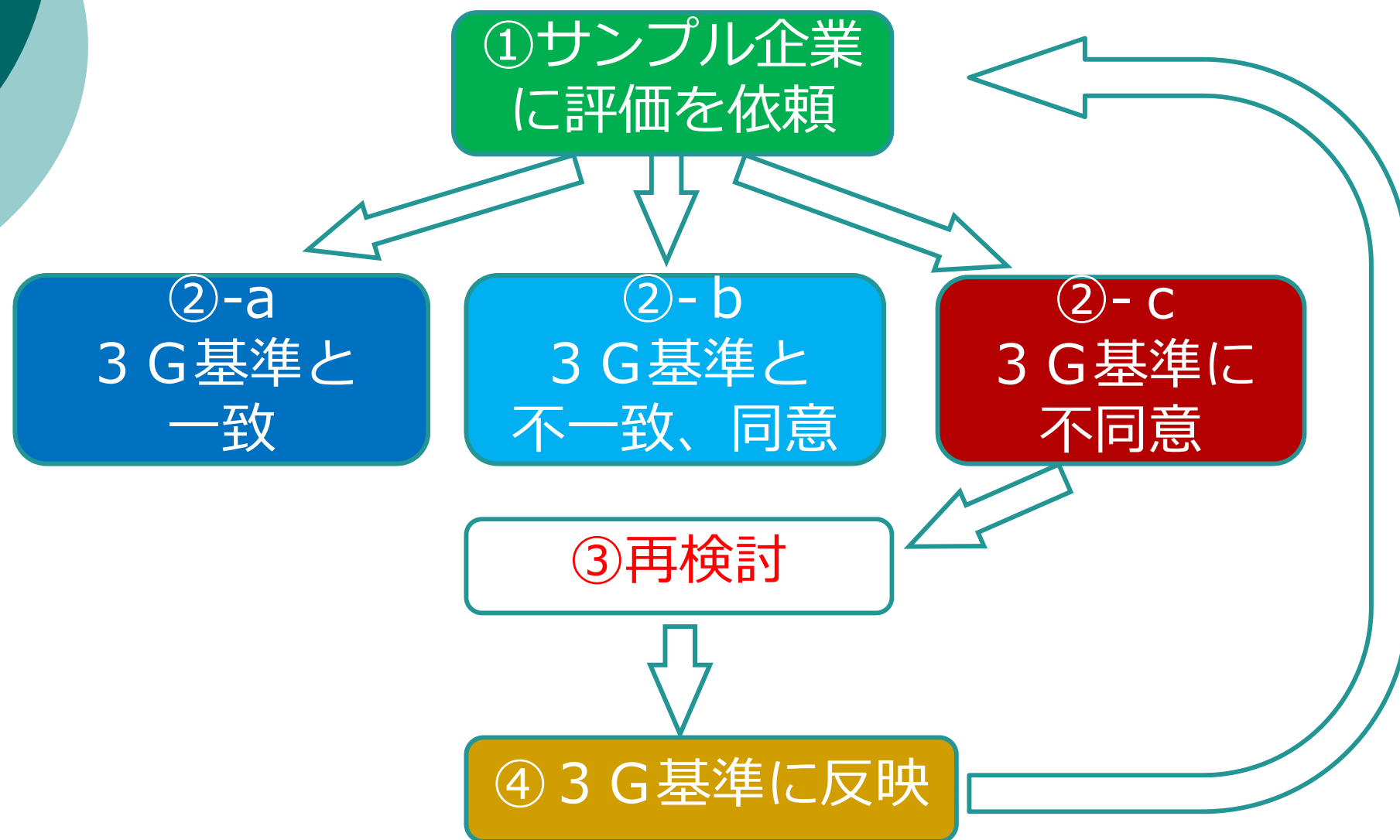
| | | | |
|-------|-----|-----|------|
| 4 : 0 | 一致 | 40% | |
| 3 : 1 | 多数決 | 42% | |
| 2 : 2 | 不一致 | 18% | 617件 |

グループ内で討議し、3 Gとして意見を一致させた

3G基準(β版)の完成

セキュリティ基準の検証

■ 3 G基準の妥当性の検証方法 & ブラッシュアップ



セキュリティ基準の検証

■ 3 G基準の妥当性の検証

- ・ サンプル企業 3 社

| 企業 | 基本情報 | 入力 | DB格納 |
|--------|------|--------|------|
| サンプルA社 | あり | Webサイト | あり |
| サンプルB社 | あり | イントラのみ | あり |
| サンプルC社 | あり | イントラのみ | あり |

- ・ 要件6 (25項目)

「安全性の高いシステムとアプリケーションを開発し保守する」

- ・ 妥当性の判断基準

| 判断条件 | 妥当性 |
|--------------------------|-------|
| ○・xが3G基準と一致している | 妥当である |
| ○・xが3G基準と不一致だが、3G基準に同意する | 妥当である |
| ○・xが3G基準と不一致で、3G基準に同意しない | 妥当でない |

セキュリティ基準の検証

■ 3 G基準の評価結果

| 判断条件／企業 | A社 | B社 | C社 | 合計 |
|----------------------------|-----|-----|-----|-----|
| ○・×が3 G基準と一致している | 16 | 17 | 15 | 48 |
| ○・×が3 G基準と不一致だが、3 G基準に同意する | 6 | 1 | 1 | 8 |
| ○・×が3 G基準と不一致で、3 G基準に同意しない | 3 | 7 | 9 | 19 |
| 妥当性 | 88% | 72% | 64% | 75% |

→不一致・不同意の項目について、再討議

セキュリティ基準の検証

■ 不一致・不同意項目の再討議

「イントラ入力」・・・メンバー間の認識相違

前提

- ・ イントラ入力のためのシステムに対して、外部からのアクセスはない
- ・ セキュリティホールをついてまで攻撃を行う攻撃者は、内部には存在しない

要件6.2

「OSおよびソフトウェアの重要なセキュリティパッチをリリース後1カ月以内に適用する」

要件6.5.1

「アプリケーション開発において、SQLインジェクションに対応したセキュアコーディングを行う」

セキュリティ基準の検証

■ 3G基準の評価結果

| 判断条件／企業 | A社 | B社 | C社 | 合計 |
|--------------------------|-----|-----|-----|-----|
| ○・×が3G基準と一致している | 16 | 17 | 15 | 48 |
| ○・×が3G基準と不一致だが、3G基準に同意する | 6 | 1 | 1 | 8 |
| ○・×が3G基準と不一致で、3G基準に同意しない | 3 | 7 | 9 | 19 |
| 妥当性 | 88% | 72% | 64% | 75% |

■ 3G基準の再評価結果

| 判断条件／企業 | A社 | B社 | C社 | 合計 |
|--------------------------|-----|-----|-----|-----|
| ○・×が3G基準と一致している | 16 | 21 | 20 | 57 |
| ○・×が3G基準と不一致だが、3G基準に同意する | 6 | 1 | 1 | 8 |
| ○・×が3G基準と不一致で、3G基準に同意しない | 3 | 3 | 4 | 10 |
| 妥当性 | 88% | 88% | 85% | 86% |

セキュリティ基準の検証

■ 不同意の項目

要件6.2

「OSおよびソフトウェアの重要なセキュリティパッチをリリース後1カ月以内に適用する」

3 G基準・C社 ×

B社 ○

要件6.5.5

「アプリケーション開発において、適切なエラー処理を行う(具体的なエラー表示をせず、汎用エラーメッセージを表示する)」

3 G基準・B社 ×

C社 ○

セキュリティ基準の検証

■ 不同意の項目

| 企業 | 基本情報 | 入力 | DB格納 |
|--------|------|--------|------|
| サンプルA社 | あり | Webサイト | あり |
| サンプルB社 | あり | イントラのみ | あり |
| サンプルC社 | | | |

妥当性100%、存在する？

| 判断条件 / 企業 | A社 | B社 | C社 | 合計 |
|--------------------------|-----|-----|-----|-----|
| ○・×が3G基準と一致している | 16 | 21 | 20 | 57 |
| ○・×が3G基準と不一致だが、3G基準に同意する | 6 | 1 | 1 | 8 |
| ○・×が3G基準と不一致で、3G基準に同意しない | 3 | 3 | 4 | 10 |
| 妥当性 | 88% | 88% | 85% | 86% |

まとめ

■成果

どこまでやるの

個人情報に絞り、PCIDSSを基に

230項目のセキュリティ対策項目 × 15条件

→**3,450**の項目からなるセキュリティ基準の作成

基準の検証

同意 = 妥当 という考え方

要件6(25項目) × 2条件 の50項目

妥当性**86%**の信頼できるセキュリティ基準

基準のツール化

残念ながら…



まとめ

■成果

ご来場の皆さま

- ・全項目検証済みの信頼できるセキュリティ基準
- ・セキュリティ対策状況を評価できるツール

関西3Gメンバー

- ・セキュリティに関する知識
- ・セキュリティに関する**意識**



ご清聴ありがとうございました。